

# 御影だんじりパレード



## 御影だんじりパレード

2014年 **5月3日(土)** 17:00~19:00 **雨天中止**

### ●御影クラッセだんじり広場 及びクラッセ南側道路



東灘区に赴任して二度目の春を迎えました。あちらこちらからだんじり囃子の音色が聞こえ、区内各所からだんじりまつり一色になり、総勢三十一基のだんじりが勇壮な掛け声とともに区内を駆け巡る様子を思い出すと、その迫力や人々の活気に心が高鳴ります。

だんじりには、東灘区の発足よりもずっと以前から大切にされてきたものがたくさん詰まっています。

地域の歴史を示す精巧な彫刻に、地域を愛する人々の思いを表すかのように美しい飾り幕。それらを纏(まと)っただんじりは地域の伝統、文化、結束力を大事にする多くの人々に支えられて力強く巡行します。

東灘区では、新しく転入された若い世代の方々が増え、多子高齢化という言葉が示すとおり、この地で生まれ育つ子ども達も多くなっています。そのような中で、地域の伝統とつながりを次世代に引き継いでいく重要な場であるだんじりが、地域の財産として未永く守り育てられ、地域の力がより一層高められていくことを心より願っております。

最後になりましたが、だんじり巡行にご尽力いただきました地域の皆様、東灘警察署ほか各関係機関の皆様にご御礼申し上げます。

東灘区長 井川 博



恒例の「御影だんじりパレード」は、阪神淡路大震災で大きな被害を受けた御影地区に「復興と絆」と「落ち込んだ心に元気を」との思いから、弓弦羽地区では、鳴尾御影線と南3町が並んで巡行していた事もあって、弓弦羽神社、網敷天満神社、東明八幡神社の氏子の皆さん方で、各神社祭礼時のだんじり巡行を、同一の日を集まり「御影は一つ」との合言葉で11台のだんじりが御影町内を一巡することが相談され、平成13年5月より実施し今日を迎えております。本年を以て13年を迎えるわけです。

震災後、御影は大きく変貌しました。御影クラッセをはじめ、大中のマンション、戸建て等、人の流入もあり、初めてだんじりを見る人もおられます。だんじりはその地域、地区の伝統芸能の一つでもあり、だんじり文化を絶やす訳にはいきません。この「御影だんじりパレード」で一人でも多くのだんじりファンが増えることによって伝統芸能・伝統文化が守られていくと考えます。

東日本大震災で被害にあわれたみなさんは、震災後3年を迎えられたのですが私たち神戸と復興の状況は、原発もさることながら、苦しんでおられるのは心が痛みます。東北地区まで届くよう「御影だんじりパレード」で大いに声援を送るうではありませんか。

最後になりますが、当番地区でありながら十分にお世話出来ないお詫びと尽力いただいた「御影連合会」の皆さんはじめ、関係する皆様へ厚く感謝を申し上げます。

東明祭礼奉賛会 東明だんじり保存会  
会長 高嶋 良平



**【安全と警備に伴うご協力のお願い】**

だんじりの運行に関しましては各地区の運行責任者の元、世話人が万全の注意をはらって警備しております。ご見学の皆様も、だんじりの動いているときに近づきすぎたり、前方を横切ったりなどの危険な行為をなされないようにご協力をお願い致します。パレードの際には、だんじりに近づいていただける時間を設けておりますので、その際に各町のだんじりを存分に楽しんでいただけたらと思っております。しかし、一旦だんじりが動き出しますと、大変危険です。その時は世話人から案内を差し上げますので、楽しいパレードや祭礼を実施するためにも、又、今後もこの地でパレードを続けて行くにも、世話人・安全協会会員・消防団員などの案内に従って頂きますように、皆様のご協力をお願い致します。

皆様もご存知の通り、数年前の明石市の花火大会での事故以降、警察側の警備に関する注意事項もかなり厳しくなっております。祭礼関係者も最善の注意をはらいますが、ご見学の皆様も事故発生することないように、ご協力をお願い申し上げます。

各時間は天候・交通状況等により予告なく変更になる場合があります。

御影は東日本大震災の被災地復興を応援しています。